

河川や水の研究を応援します！

平成30年度は約80件の研究等へ助成。

【河川基金助成事業 研究者・研究機関部門】

萌芽的な研究や、今後の発展に期待できる研究を支援します

若手研究者の研究活動のスタートを支援します

■ 助成額 (2019年度)

200万円
～
60万円

■ 助成期間 (2019年度) 1年または2年

【写真提供】岡山大学 齋藤光代さん
愛媛県西条市を流れる加茂川の河口干潟

研究名：河口干潟での海苔養殖に及ぼす河川經由栄養塩供給の長期的影響評価－洪水流出・河川水伏没・ダム建設の影響に着目して－

■ 助成対象者

大学

高等専門学校

独立行政法人

等の研究機関及び

これらの研究機関に所属する研究者



河川基金

河川基金は、昭和63年に設立され、これまでに河川や流域に関わる様々な研究や活動に対し、約10,600件、約119億円の助成を行ってきました。

募集期間

10/1 ~
11/30

応募要項等河川基金の詳細はHPをご覧ください。

河川基金

検索



公益財団法人

河川財団

■ 助成対象テーマ

河川や水の幅広いテーマに助成します。

河川基金では、「河川」と「水」の分野における学術あるいは技術の発展に資する研究や、「川づくり」の現場に適用し河川をよりよいものに変えていくことが期待できる研究など、「河川」や「水」に関する幅広いテーマの研究に助成しています。

また、萌芽的な研究や今後の発展に期待できる研究を優先的に支援します。例えば、気候変動による影響の予測・評価や適応策の研究、AIやIoT等の先端技術を活用し河川管理の革新につながるような研究も対象とします。

工学、自然科学系の研究

- ① 水・物質循環、水環境
- ② 生態系・景観などの河川環境
- ③ 水害・土砂災害の軽減、土砂管理
- ④ 水資源
- ⑤ 水に関するエネルギー
- ⑥ 河川・水分野に関する気候変動適応・緩和
- ⑦ 「川づくり」に貢献する先端技術の開発・導入

社会科学、人文科学系の研究

- ⑧ 河川・水教育
- ⑨ 川や水に関する地域の歴史・文化・伝統
- ⑩ 川づくり・まちづくりにおける地域との連携
- ⑪ 水に関する法制度
- ⑫ 治水や利水等の経済効果

文理融合型の研究

- ⑬ 「工学、自然科学系」と「社会科学、人文科学系」の双方の視点を組み合わせることにより、新たな知見を得ることを目指した調査・研究

■ 研究助成の種類別内容

若手研究者への支援 (35歳以下の研究者)

若手研究者が、研究者として良いスタートを切れるように、一般研究者とは別枠の助成区分を設けています。

POINT

助成対象者	助成区分	期間	助成金額
研究機関	一般的助成	1年又は2年	200万円（上限）
一般研究者 (60歳未満)	一般的助成	1年又は2年	100万円（定額）
若手研究者 (35歳以下)	一般的助成	1年又は2年	60万円（定額）



河川基金助成による研究をもとに、河川や水の分野における学術の進歩・発展に顕著な貢献をなしたと認められる助成研究者を表彰します。応募の締め切りは11月30日までです。詳しくは河川基金のホームページをご覧ください。

過年度の受賞研究

平成29年度 河川財団賞
大阪健康安全基盤研究所
山口 進康 総括研究員
ポータブル・微生物モニタリングシステムを用いた河川環境のon-site衛生微生物学的安全保障

平成27年度 河川財団賞
群馬大学大学院 清水 義彦 教授
植生が進む砂州河道の地形と植生の管理手法に関する水理研究

■ 主なスケジュール

申請年度	助成年度（1年または2年）	助成の翌年度
9月 募集要項公表	4月 ← 助成事業実施期間 →	4月末 報告書提出
10月 ← 応募期間 →	3月	7月下旬～8月上旬 研究成果発表会
11月 選考委員会による審査		
3月 採択決定		

問い合わせ先

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル 2階 公益財団法人 河川財団
基金事業部 tel.03-5847-8303 e-mail. kikin-toi@kasen.or.jp www.kasen.or.jp